

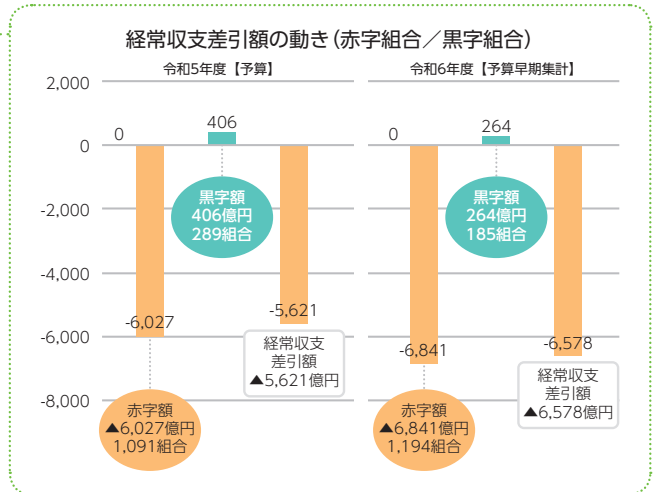
健康保険組合
連合会が発表！

健保組合の令和6年度予算は 6,578億円の赤字予算

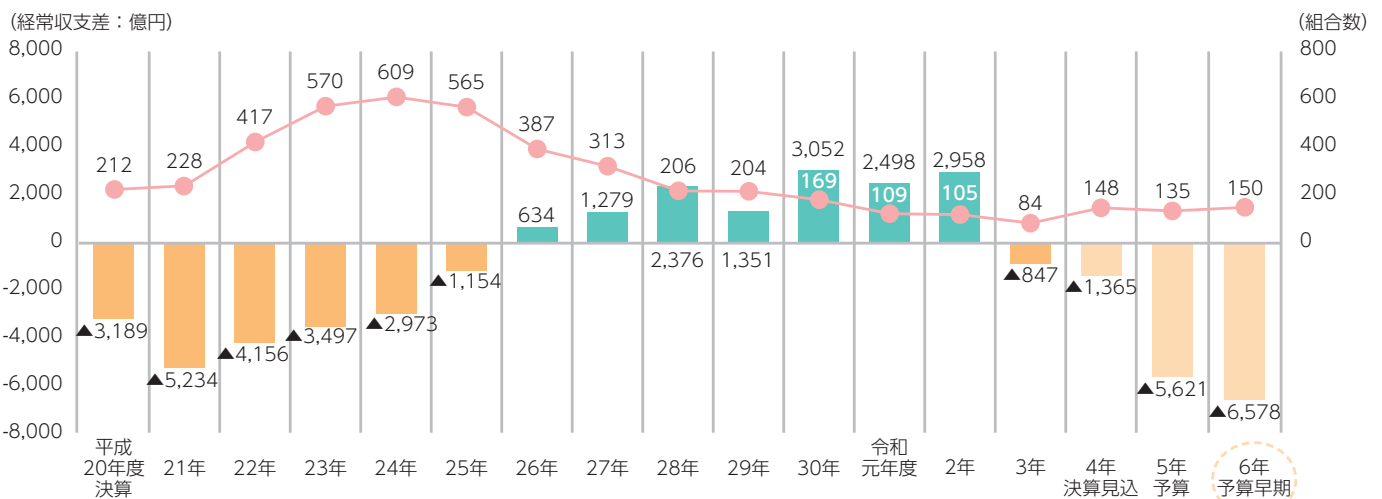
健康保険組合連合会(健保連)が4月23日に「令和6年度健保組合予算早期集計結果の概要」を公表しました。この予算早期集計は、令和6年度における健保組合の財政状況等を早期に把握するため、報告のあった1,353組合の数値をもとに、同年4月1日時点に存在する1,379組合の財政状況を推計したものです。

POINT

- ▶ **保険料収入**：対前年度予算比+4.5% (+3,811億円)の増加。被保険者数の堅調な伸びとともに、賃金引上げの追い風・効果を漸次的に反映。
- ▶ **保険給付費**：対前年度予算比+6.2% (+2,945億円)の増加。新型コロナ感染拡大下での医療費の高い伸びや著しい変動が懸念材料となり、例年に比べ高めの見込み。高齢者拠出金は団塊の世代が75歳に到達する影響により+4.6% (+1,701億円)の増加。
- ▶ **標準報酬月額**：+1.9%増の39万1,372円。標準賞与額は+3.0%増の119万7,287円。新型コロナ感染拡大前に比べ月額+3.5%、賞与額+1.5%と回復している。
- ▶ **保険料率**：平均保険料率は+0.05ポイント増の9.32%。実質保険料率は+0.17ポイント増の10.27%。料率を引き上げた組合は150組合、引き下げた組合は75組合。据え置いた組合は1,127組合(回答1,352組合ベース)。
- ▶ **被保険者数**：+1.1%増(+18万2,466人)の1,686万6,761人と過去最高。元年度に比べ+2.7%増(+44万人)。特に女性が+8.9%(+49万人)と著しく増加。
- ▶ **高齢者拠出金**：うち前期高齢者納付金は+5.7%増(+866億円)の1兆6,003億円、後期高齢者支援金は+3.8%増(+835億円)の2兆2,769億円。加入者の健康維持・増進のための保健事業費は+1.8%増(+81億円)の4,664億円。



経常収支差引額および保険料率引き上げ組合数の推移



注1) 各年度の数値は、平成20～令和3年度：決算、4年度：決算見込、5年度：予算、6年度：予算早期集計の値である。
注2) 令和6年度の料率引き上げ組合数は、5-6年度両年度にわたり報告のあった1,352組合に基づく数値である。

National Federation of Health Insurance Societies(KEMPOREN)

